



シーオーピーディー  
**COPD**  
(慢性閉塞性肺疾患)



って知っていますか？

鈴鹿市のみなさん、こんにちは。

ばんクリニックの伴と申します。

さて、今回は前回に引き続き COPD(慢性閉塞性肺疾患)の診断、治療についてお話させていただきます。診断については、レントゲン検査などの画像検査によって肺の状態を確認し、スパイロメーターという機械を使って呼吸機能(吐く力、肺活量など)を測定することによって診断します。ではどんな治療法があるのか？まずは禁煙が大切です。禁煙に取り組んで頂きながら、薬物療法(病気の進行をやわらげ、症状の軽減が可能)、運動療法(歩行、呼吸筋ストレッチ体操)、食事療法も行っています。薬物療法の中心になるのは気管支拡張薬です。吸入薬が主に使用され、例えるなら、COPD治療薬のなかの不動の4番打者ダヤン・ビシエド選手です。狭くなった気管支を拡げるお薬で、呼吸が楽になります。他には吸入ステロイド薬(炎症を抑えるお薬)、去痰薬(痰の切れを良くするお薬)などもあります。いずれの治療も、根気よく続けていくことがとても重要です。ご家族や知人に、「もしかして、COPD?」と気になる方がいらっしゃったら、まずは医療機関の受診を勧めてみてください。

さて今回のコラムをもちまして最終回となりました。このコラムがみなさんの健康に少しでもお役に立てていれば医師としてこんなに嬉しいことはありません。一年間お付き合い頂きありがとうございました。